

奈良県観光客動態調査報告書

令和3年1月～令和3年12月

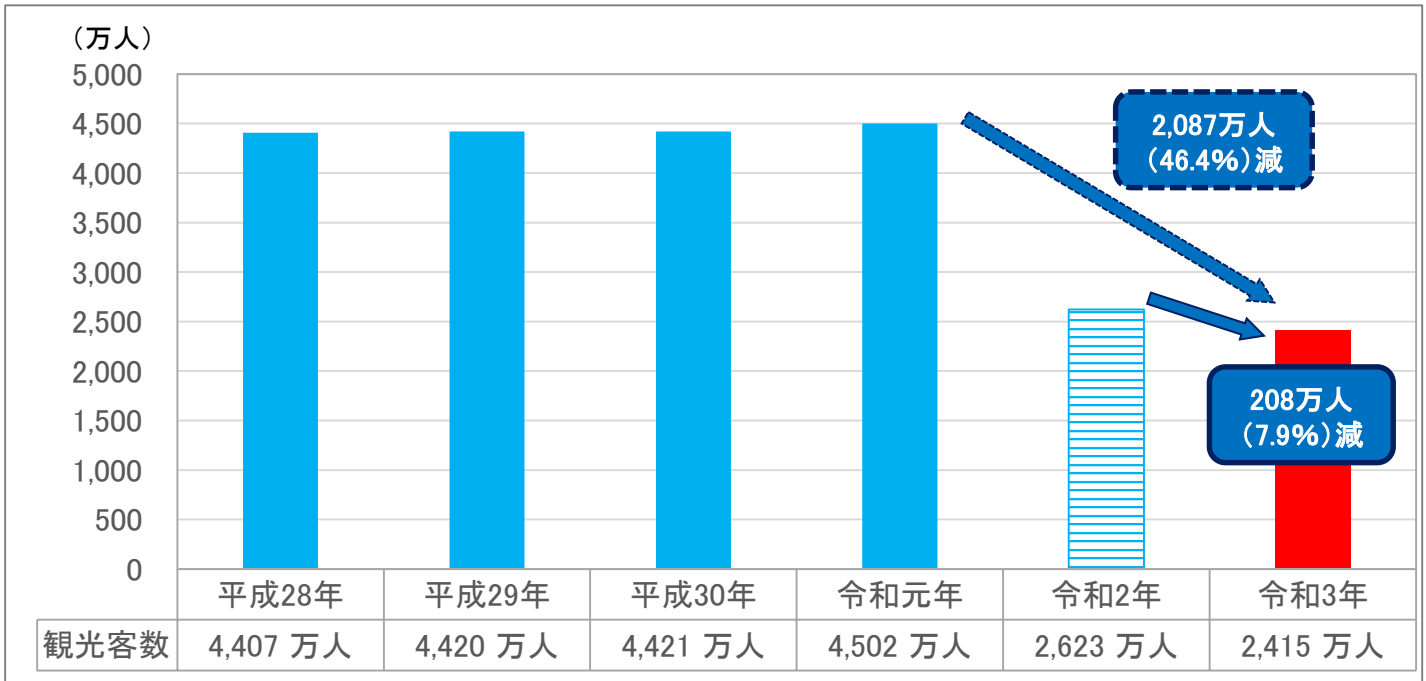
奈良県観光局ならの観光力向上課

1. 奈良県への観光客数(延べ人数)

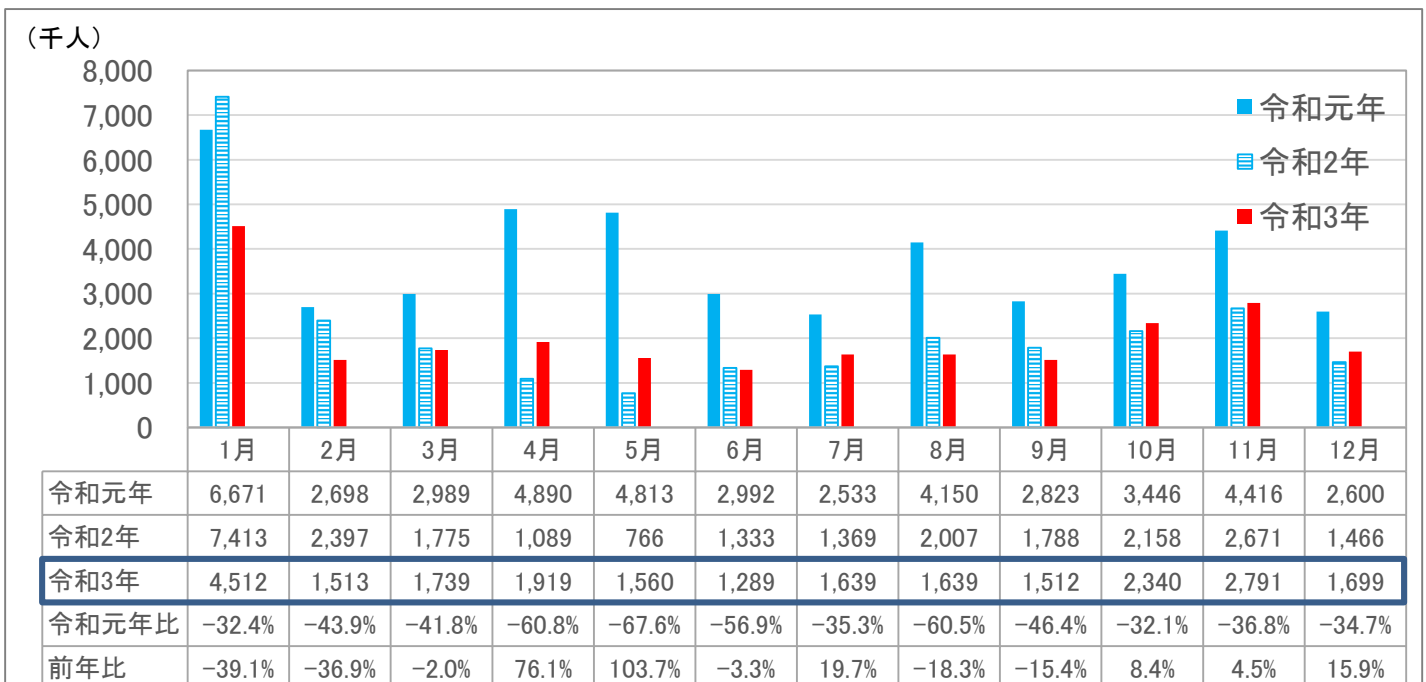
令和3年の奈良県観光客数は**2,415万人**で、前年比**208万人(7.9%)の減少**となりました。また、新型コロナウイルス感染症が拡大する直前の令和元年度と比較すると、**2,087万人(46.4%)の減少**となりました。

令和3年結果を月別にみると、1月～2月は年末年始からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大、首都圏や近隣府県に緊急事態宣言が発出された影響を受け、観光客数は減少しました。3月に緊急事態宣言が解除されると、春の行楽シーズンによる旅行需要が増加し、4月～5月には第4波を迎えるも、第1波により旅行需要が大きく落ち込んでいた前年を上回りました。10月以降は、新型コロナウイルスワクチンの2回目接種率も7割を超え、感染者数が大きく減少したこともあり、旅行需要が回復したことから前年を上回りました。しかしながら、年間を通して新型コロナウイルス感染症の影響を受けたことにより、昨年を下回る結果となりました。

延べ観光客数推移【平成28年～令和3年】

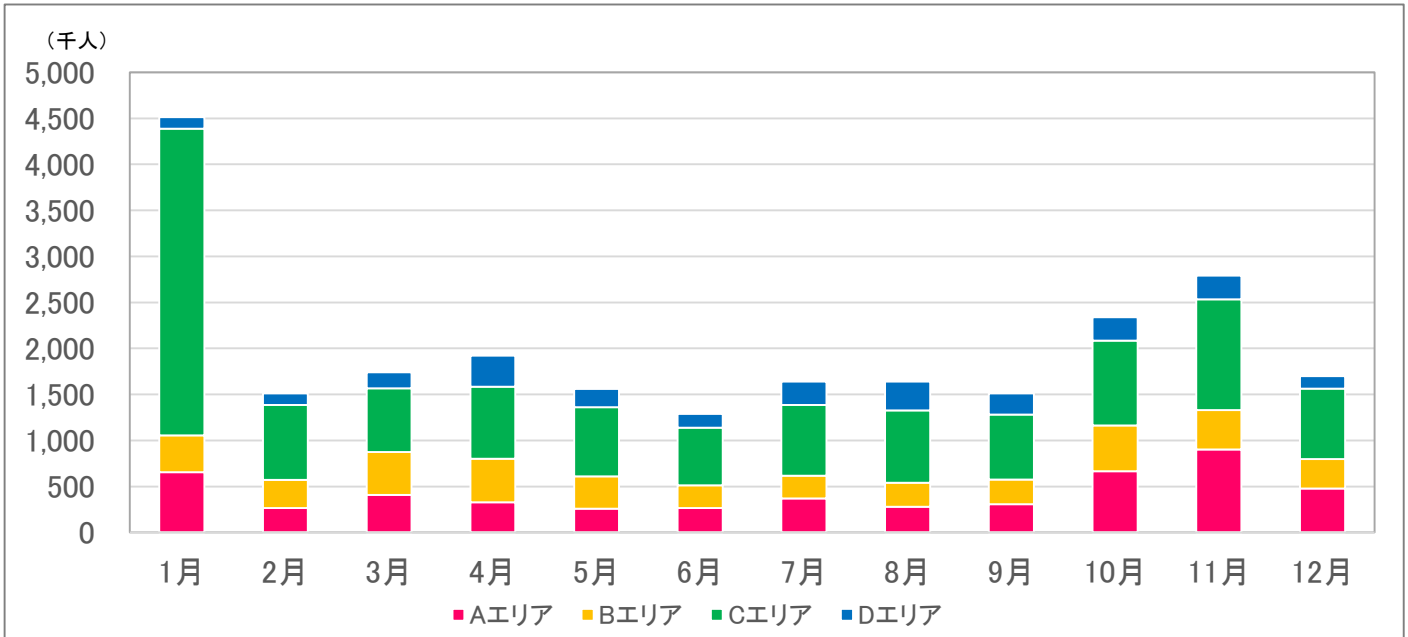


月別観光客数比較【令和元年、令和2年、令和3年】



2. エリア別観光客数

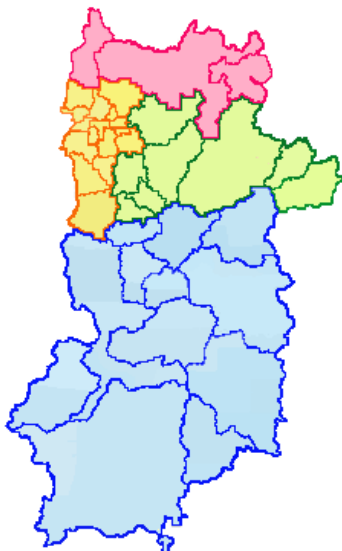
エリア別・月別観光客数



(単位:千人)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
A エリア	655	264	408	329	257	267	369	281	308	667	903	479	5,186
令和元年比	-63.5%	-75.5%	-59.9%	-76.3%	-86.8%	-76.2%	-53.6%	-86.2%	-68.4%	-51.4%	-43.8%	-52.0%	-67.9%
前年比	-65.2%	-68.3%	-0.5%	129.3%	157.0%	6.6%	20.8%	-33.7%	-39.4%	2.9%	13.0%	31.9%	-22.2%
B エリア	401	308	466	473	353	246	247	258	268	497	426	318	4,261
令和元年比	-21.6%	-7.6%	-23.6%	-61.0%	-46.4%	-50.4%	-28.3%	-24.1%	-32.5%	-4.8%	-29.5%	-9.8%	-33.2%
前年比	-22.9%	1.8%	21.2%	40.7%	87.8%	1.0%	8.8%	-21.4%	-14.0%	13.1%	0.1%	13.6%	6.9%
C エリア	3,333	812	693	781	753	626	768	788	707	921	1,204	766	12,153
令和元年比	-20.7%	-28.2%	-39.0%	-52.9%	-58.5%	-44.9%	-29.1%	-38.6%	-38.5%	-28.9%	-33.4%	-28.2%	-35.3%
前年比	-31.3%	-27.9%	-13.5%	74.4%	92.0%	-7.3%	18.1%	-1.5%	0.4%	11.7%	3.7%	13.1%	-7.3%
D エリア	123	127	172	337	197	150	254	312	229	255	258	136	2,551
令和元年比	-23.4%	-17.2%	-22.7%	-46.5%	-50.3%	-36.7%	-17.7%	-36.0%	-23.7%	0.2%	-34.7%	-25.4%	-31.6%
前年比	-23.9%	-4.9%	-3.6%	107.5%	130.6%	-8.4%	36.8%	-31.3%	-13.1%	4.1%	-9.5%	-6.4%	3.5%
計	4,512	1,513	1,739	1,919	1,560	1,289	1,639	1,639	1,512	2,340	2,791	1,699	24,152
令和元年比	-32.4%	-43.9%	-41.8%	-60.8%	-67.6%	-56.9%	-35.3%	-60.5%	-46.4%	-32.1%	-36.8%	-34.7%	-46.4%
前年比	-39.1%	-36.9%	-2.0%	76.1%	103.7%	-3.3%	19.7%	-18.3%	-15.4%	8.4%	4.5%	15.9%	-7.9%

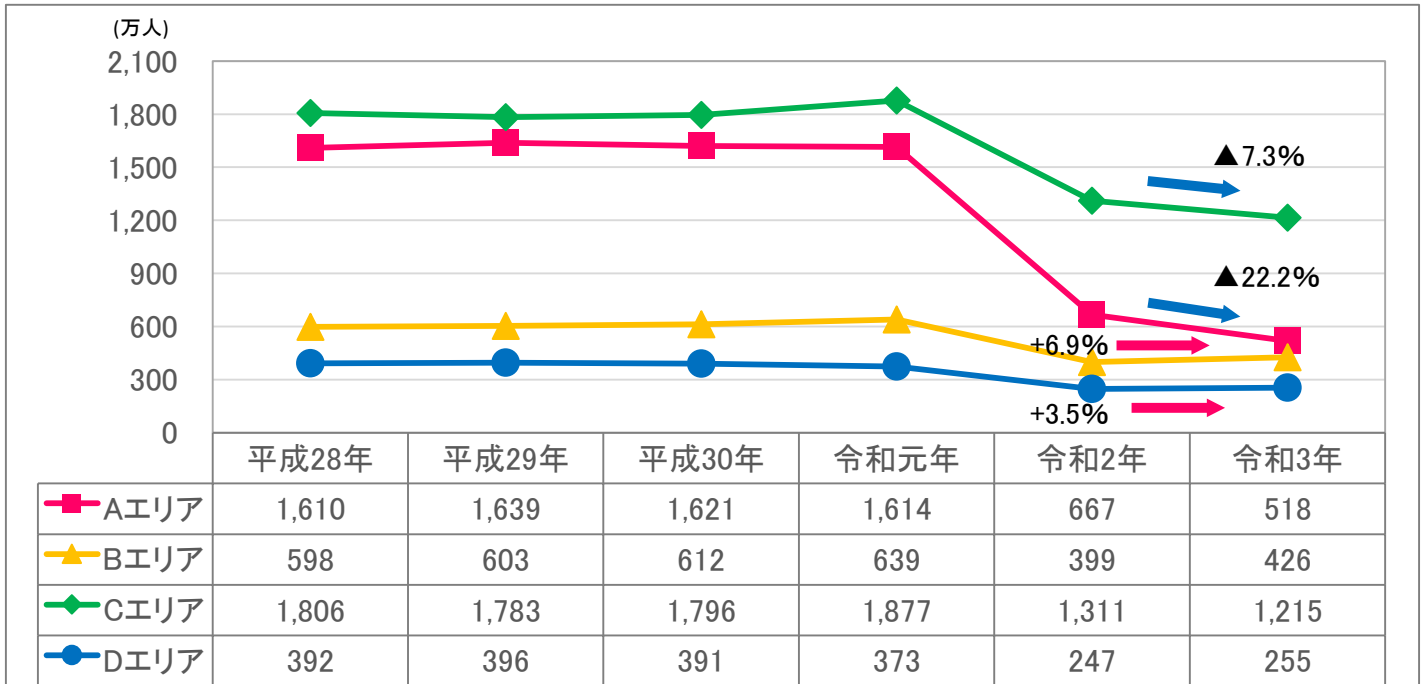
※ 千人未満を四捨五入しているため、内訳と計は一致しません。



A (県北部)	奈良市、生駒市、山添村
B (県西部)	大和高田市、大和郡山市、御所市、香芝市、葛城市、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、川西町、三宅町、田原本町、上牧町、王寺町、広陵町、河合町
C (県東部)	天理市、橿原市、桜井市、宇陀市、曾爾村、御杖村、高取町、明日香村
D (県南部)	五條市、吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、天川村、野迫川村、十津川村、下北山村、上北山村、川上村、東吉野村

2. エリア別観光客数

エリア別観光客数の推移【平成28年～令和3年】



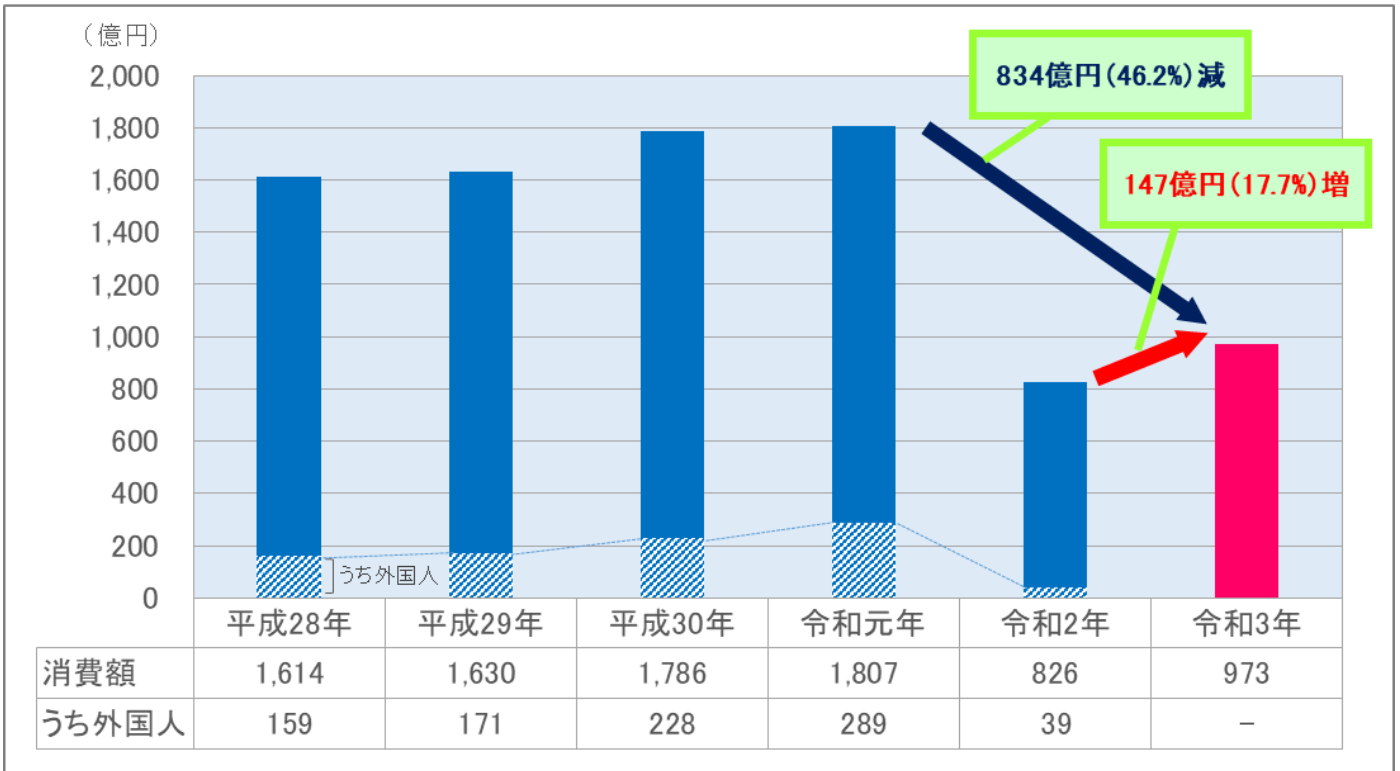
A	令和元年比： 1,095万人減 (▲67.9%)	新型コロナウイルス感染症の影響により、年間を通して67.8%の減少。奈良市内の社寺への客数が激減したことや、なら燈花会や奈良マラソンなどの大型イベントの規模縮小もあり、大幅な減少となった。
	前年比： 148万人減 (▲22.2%)	奈良県立美術館や奈良国立博物館など一部施設では入場者数が前年を上回ったものの、新型コロナウイルス感染症の影響による初詣の客数の大幅な減少が影響し、前年を下回る結果となった。
B	令和元年比： 213万人減 (▲33.2%)	新型コロナウイルス感染症の影響により、年間を通して33.3%の減少。社寺への客数の減少やイベントの規模縮小等が影響し、令和元年以前ほどの賑わいは見られなかった。
	前年比： 27万人増 (+6.9%)	県立民俗博物館や馬見丘陵公園、唐古・鍵遺跡史跡公園等で賑わいを見せた。また、お城まつりや金魚すくい選手権大会等の行祭事・イベントが規模を縮小しながらも再開されたこと等も影響し、前年を上回る結果となった。
C	令和元年比： 662万人減 (▲35.3%)	新型コロナウイルス感染症の影響により、年間を通して35.3%の減少。桜や紅葉の季節に例年賑わいのあった社寺への客数の減少に加え、花火大会等の行祭事・イベントの中止が影響した。
	前年比： 96万人減 (▲7.3%)	新型コロナウイルス感染症の影響による初詣の客数の減少や観光施設の休館、各種行祭事・イベントの規模縮小により、前年を下回る結果となった。
D	令和元年比： 118万人減 (▲31.6%)	新型コロナウイルス感染症の影響により、年間を通して31.6%の減少。温泉施設や道の駅等への客数が大幅に減少したことが影響した。
	前年比： 8万人増 (+3.5%)	前年に続き、キャンプ等のアウトドア需要拡大や自然が多い地域への訪問意向の高まりにより観光客が増加。一部のキャンプ場や鍾乳洞等を中心に賑わいを見せ、年間を通して3.2%の増加となった。

3. 宿泊・日帰り別観光消費額

令和3年の観光消費額は**973億円**で、前年比**147億円（17.7%）の増加**となりました。
 コロナ禍前の令和元年と比較すると**834億円（46.2%）の減少**となりました。

観光消費額が増加した主な要因としては、観光入込客数(実人数推計)が前年比で+1,498千人(+8.9%)と増加したことが影響しました。

観光消費額の推移【平成28年～令和3年】



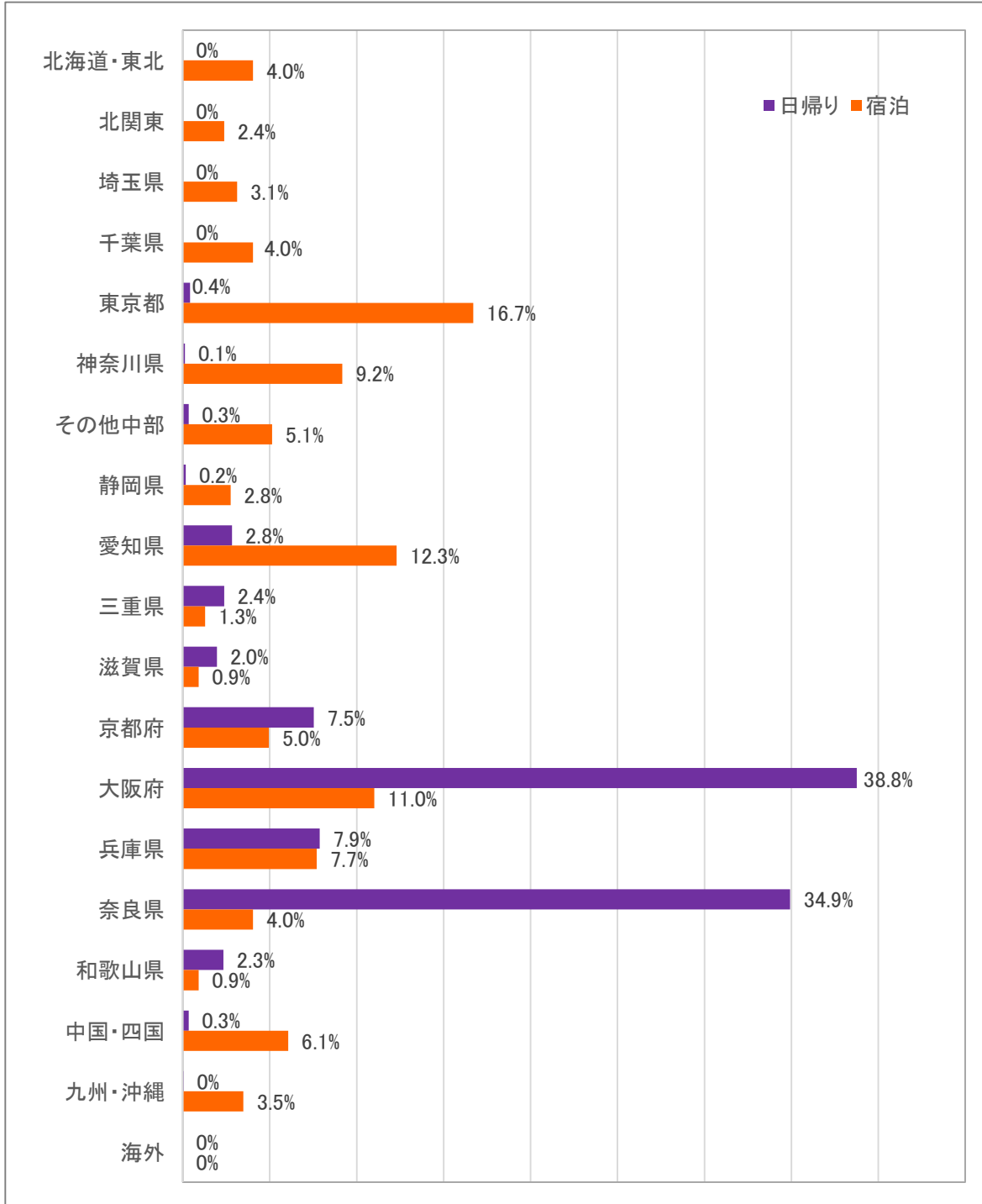
	令和元年	令和2年	令和3年	令和元年比較		前年比較	
観光消費額 (単位:百万円)							
宿泊	68,299	33,064	39,298	-29,001	-42.5%	6,234	18.9%
うち訪日外国人	15,791	1,510	-	-	-	-	-
日帰り	112,392	49,539	57,963	-54,429	-48.4%	8,423	17.0%
うち訪日外国人	13,096	2,350	-	-	-	-	-
合計	180,692	82,603	97,261	-83,431	-46.2%	14,658	17.7%
うち訪日外国人	28,886	3,860	-	-	-	-	-
1人あたり観光消費額 (単位:円/人回)							
宿泊	24,807	23,211	23,394	-1,413	-5.7%	183	0.8%
うち訪日外国人	27,079	37,722	-	-	-	-	-
日帰り	4,569	3,217	3,483	-1,086	-23.8%	266	8.3%
うち訪日外国人	5,914	6,368	-	-	-	-	-
合計(平均)	6,606	4,910	5,308	-1,298	-19.6%	399	8.1%
うち訪日外国人	10,326	9,435	-	-	-	-	-
観光入込客数(実人数推計) (単位:千人回)							
宿泊	2,753	1,424	1,680	-1,073	-39.0%	255	17.9%
うち訪日外国人	583	40	5	-578	-99.1%	-35	-87.3%
日帰り	24,599	15,401	16,643	-7,956	-32.3%	1,243	8.1%
うち訪日外国人	2,214	369	0	-2,214	-100.0%	-369	-100.0%
合計	27,352	16,825	18,323	-9,029	-33.0%	1,498	8.9%
うち訪日外国人	2,797	409	5	-2,792	-99.8%	-404	-98.8%

※観光入込客数(実人数推計): 延べ入込客数を基に、アンケート調査により得た観光客1人あたりの平均訪問地点数等を考慮し推計しています。
 ※訪日外国人の観光消費額は、新型コロナウイルス感染症の影響により1人あたり観光消費額が欠測のため、不明です。

4. 来訪者の発地

■ 来訪者の発地割合(アンケートの回答者数:2,947人)

- ・日帰り観光客は近畿圏(93.4%)からの来訪者が多く、最も多いのが大阪府(38.8%)、次いで奈良県内(34.9%)、兵庫県(7.9%)となっている。
- ・宿泊観光客は関東圏(35.4%)や近畿圏(29.5%)からの来訪者が多く、最も多いのが東京都(16.7%)、次いで愛知県(12.3%)となっている。



※ 奈良県内での宿泊を伴わない観光客を日帰り観光客として集計しています。

※ 回答が少数の道・県は、地域ブロックにまとめています。

地域ブロック	都道府県
北海道・東北	北海道 青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県 福島県
北関東	茨城県 栃木県 群馬県
その他中部	新潟県 富山県 石川県 福井県 山梨県 長野県 岐阜県
中国・四国	鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県 徳島県 香川県 愛媛県 高知県
九州・沖縄	福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県 沖縄県

調査の概要(参考)

観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」(以下、「共通基準」という。)に準拠した調査を四半期ごとに実施し推計を行った。
なお、報告書内の数値は、端数を四捨五入して表記している。

観光地点等入込客数(延べ人数)調査

市町村が観光地点の管理者や行祭事・イベントの運営者に入込客数を調査し、県が集計。

【集計対象数】 … 237

【調査対象】

観光地点については次の①～③に掲げる要件の全てを満たすもの、「行祭事・イベント」については②及び③の要件を満たすものを集計対象とした。

- ①非日常利用が多い(月1回以上の頻度で訪問する人数の割合が半分未満)と判断される地点であること。
- ②観光入込客数が適切に把握できる地点であること。
- ③前年の観光入込客数が年間1万人以上、若しくは前年の特定月の観光入込客数が5千人以上であること。

※令和2年に集計対象としていた地点については、コロナ禍の影響を考慮し、③に関わらず集計対象に含めている。

アンケート調査

県内の10地点において、平均訪問地点数、観光消費額単価等について調査を行った。

【アンケート回答者数】 … 2,947人

【実施場所】

- | | |
|-----------|------------|
| ・東大寺 | ・信貴山朝護孫子寺 |
| ・唐招提寺 | ・法隆寺 |
| ・ならまち格子の家 | ・石舞台古墳 |
| ・大神神社 | ・金峯山寺 |
| ・長谷寺 | ・道の駅「十津川郷」 |

【実施時期】

- ・ 冬 : 令和3年1月16日(土)、30日(土)、31日(日)
- ・ 春 : 令和3年6月26日(土)、27日(日)
- ・ 夏 : 令和3年8月28日(土)、29日(日)、9月23日(祝)
- ・ 秋 : 令和3年11月13日(土)、14日(日)

※夏調査においては、ならまち格子の家が新型コロナウイルス感染症の影響により休館していたため、奈良県立美術館にて実施。